

主力製品「WEBブラウザ対応 SCADA Panacea」の次世代バージョン開発による、市場シェア拡大、及び中小製造業のDX促進



事業内容

事業の理念(パーパス)は、生産現場における生産性向上スパイラルを高速に回すための次世代プラットフォームの開発により、社会課題を解決し、国内製造業の国際競争力底上げに寄与することを目指しています。

今回採択された補助金を活用し、弊社のSCADA製品「Panacea(パナシア)」をバージョンアップ。リアルタイムで収集したデータと3D表現(メタバース)・AR(拡張現実)・AI等の最先端技術と融合させることにより、他に類を見ないプラットフォーム(デジタルツイン)を一早く開発しました。

次世代プラットフォームの登場は、社会的インパクトをもって製造業、インフラの発展に寄与するものと考えています。

今後の展開

工場の生産ラインや設備などの動作シミュレーションを仮想空間(メタバース)上で行うことにより、現実での作業を大幅に短縮します。

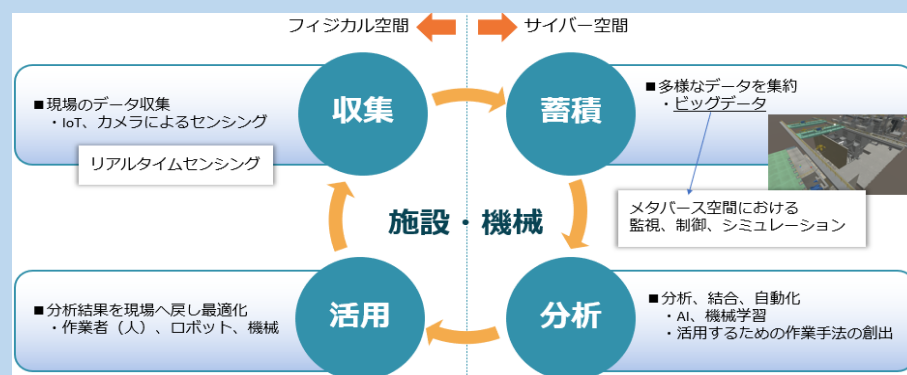
ロボットや設備のパラメータを仮想と現実で共有し、同一動作を実現するシステムを開発します(サイバーフィジカルシステム)。

また、AIを活用し、自動最適化や設備の故障予知、不良品の発生予知にもトライします。

さらに開発期間を短縮することで、経済性も確保し、国内中小企業への普及を目指します。



生産性向上スパイラル



製造現場において、収集→蓄積→分析→活用を高速でスパイラルさせることが、生産性向上への最短距離だと捉え事業に取り組んでいます。

